

ビハーラ山陰公開講座

とき 2018(平成30)年3月6日(火)

ところ 出雲市民会館 301会議室

講師 龍谷大学教授・滋賀医科大学 名誉教授 早島 理 先生

傍らにすること

浜田組 覚永寺 砂川 幸子

ビハーラ活動、今日は終末期の活動、福祉活動について勉強させていただきありがとうございました。

私は平成20年本願寺のビハーラ研修を受け、浜田に帰りビハーラ活動に参加させてもらっています。公開講座を受けるたびに念仏者としての自覚を考えさせられています。

現場活動では、ビハーラ会員(住職、門徒)4~5人の施設訪問で共に利用者の傍らにすることに心がけているように努力していますが、私ははたして今日の学びにてらしてみると疑問な事ばかりです。

一人では何も出来ませんが、仲間がいるので仏法に遇いやすい境遇の中で生かされています。

お寺での聴聞はお参りしていますが、活動とは違います。月1回の老人施設への訪問は、まねごとの繰り返しですが、「傍らにすること」と自分に言いかけせ気づきの転換をさせていただいている貴重な時間です。

立場によってつちかわれた和顔愛語が人のつながり、やすらぎ、ぬくもり赤ちゃんが胸元に眠るように！真宗宗歌・恩徳讃を歌い、死ぬことがわかっている命の大切さを確かめあい、外の風を味わい笑顔になる、またねと別れる、公開講座は迷いの命の私に再スタートの機となりました。



ビハーラ山陰総会・研修会報告

とき 2018(平成30)年6月18日(月)

ところ 本願寺山陰教堂 教化センター

午前中の総会では、前年度事業・決算報告並びに監査報告。その後、役員改選を行い、今年度の事業計画、予算案を審議しました。

午後からは、「寄り添う」をテーマに山本成樹先生(本願寺ビハーラ医療福祉会ビハーラ僧)を講師にお迎えし研修会を行いました。「いかに患者さんと寄り添っていけばよいのか、具体的な事例や方法をもっと知りたい。」「寄り添うとは、つまるところ何をすればよいのか。隣で黙って座っているだけでよいのか。」といった疑問に対して、先生からは臨床現場での様々な事例



の紹介やご自身の体験を交えながらお話をいただき有意義な研修会となりました。

参加人数は、32名でした。